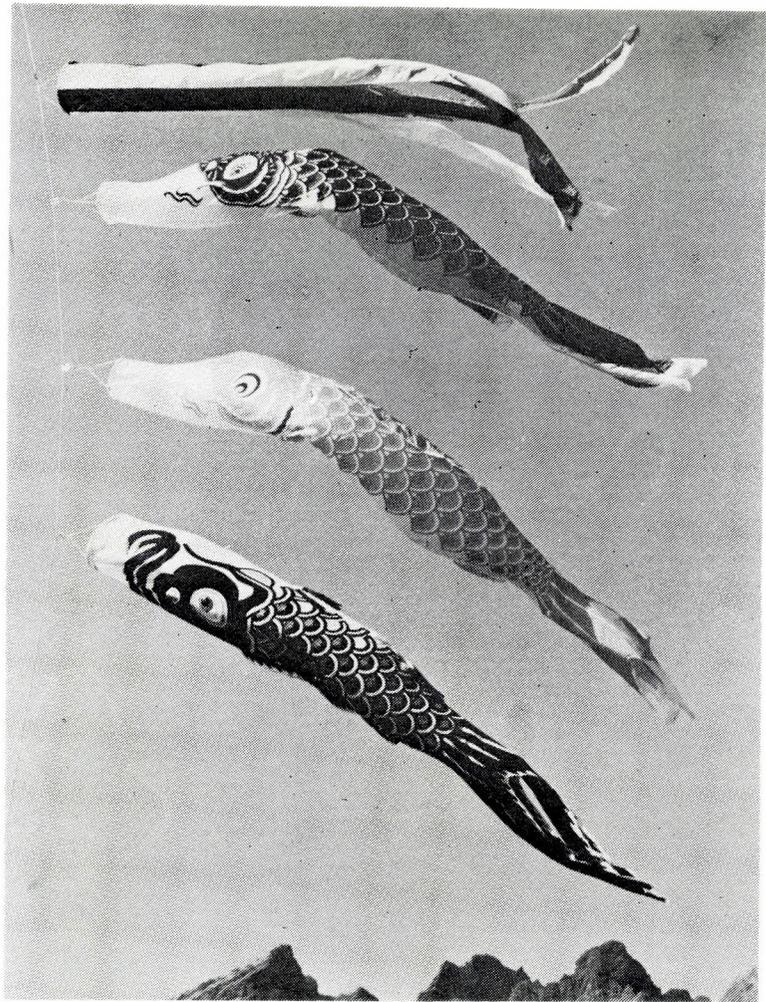


広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) @1111 [代表]

人口	
— 3月31日現在 —	
9,305人	男 4,511人 女 4,794人
世帯数	2,596
転入 71	出生 8
転出 173	死亡 10



青空に舞う鯉のぼり

抜けるように澄みわたった青空。端午の節句を迎えた家の軒先には長いポールが建てられ、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。軽やかに鳴る矢車の音にさそわれて、春風を腹いっぱい吸った真鯉、緋鯉。家の周囲はツツジもいま花盛り。遠くを走る汽車の響きものどかです。

〃国鉄高森線を利用しましょう〃

第273号 昭和57年 5月

おもな内容

- ☆ しあわせは健康づくりから.....(2)~(3)
- ☆ 国民年金 こんなときは申請を.....(3)
- ☆ 羅漢山遊歩道が完成.....(4)
- ☆ 100歳おめでとう (河原の後藤トエさん).....(5)
- ☆ 農業に誇りを (たばこ耕作者青年の声).....(6)
- ☆ 宿泊、はや20万人に (南阿蘇国民休暇村).....(7)

火事・救急車は ☎119へ	
5月5日	馬原 ② 0646 院
5月9日	東 ② 0309 院
5月16日	寺崎 ② 0378 院
5月23日	立野 ⑧ 0111 院
5月30日	渡辺 ⑦ 1777 院
6月6日	後藤 ⑦ 0019 院

診療は午前9時から午後5時まで

町民文芸

肥後狂句

当て外れ 福耳持つて難儀さす
気は良かつ 法には鬼イならしても
運命 蚤の夫婦で言われても
当て外れ やっぱ政治屋だったつか
運命 暇の裏にヤ居らす親
ああたもどうぞ 妾一人じゃ食えん河豚
運命 終戦の日に別れたつ
運命 ベートーベンの出世作
気は良かつ 欺す法螺とま吹ききらん
そこら辺 チョンカケ独楽の見つからん

浦塚 南天
林田 一声
岡本 琴司
山上 黙公子
山村 不覚
林 不忘
馬原 馬笑
二子 石探訪
石田 詩朗
篠田 凡才

俳句

幟旗はためき阿蘇の忘れ雪
春霞たなびく山を遠眺め
ゆくりなく吉野の花に遇ひし旅
かた言の孫追いかけて花の径
背丈早や父と並びて進字す
芋植えのときをしらせて花辛夷
老鶯の遠く近くに丘の昼
登り来て呼びとめられし花むしろ
髪を梳く娘の念入りに春灯下
新世帯ほぼ整いて春の宵
降る如く又舞ふごとく桜散る
風に乗る野焼の煤のいすこより
咲くを待ち散ること惜しむ花見客
花見たびたのしみわかつこの集ひ

山村 純女
熊谷 こう女
内田 文子
弥永 落女
松岡 信子
甲斐 春江
桐原 寿
林 久恵
柴田 ふう子
古庄 泰子
平田 るり子
山村 ふみ子
森 正六
後藤 固

おめでたおくやみ

S57. 3. 16~4. 15	
出生	死亡
(住所) 森 昭東小下前上昭井上草	(住所) 和原原町原町和上在部
(保護者) 熊谷田千伯 飯佐村川後村高住後阿甲	(遺族) 本尾本谷大池橋内甲工小山野
(出生児)(性別) 志生 男 聡耕 男 梓 女 友雅直大み健康奈龍弘	(死亡者) 寺松勝 本尾木 允キツムツハキ 禮エ子子ゲエ 浅国ツ一メギ重
(年齢) 57. 3. 9 3. 17 3. 22 3. 23 3. 29 3. 29 3. 31 4. 3 4. 3 4. 5 4. 9 3. 23 4. 2	(年齢) 39 83 76 65 89 76 77 72 75 79 52 67 81
(続柄) 父子 母子 兄弟 姉妹 夫婦 父母 兄弟 姉妹 夫婦 父母	(続柄) 父子 母子 兄弟 姉妹 夫婦 父母 兄弟 姉妹 夫婦 父母
(婚姻届年月日) 57. 3. 16	(婚姻届年月日) 57. 3. 16

死亡	
(住所) 和原原町原町和上在部	(住所) 和原原町原町和上在部
(遺族) 寺松勝 本尾本谷大池橋内甲工小山野	(遺族) 寺松勝 本尾本谷大池橋内甲工小山野
(死亡者) 寺松勝 本尾木 允キツムツハキ 禮エ子子ゲエ 浅国ツ一メギ重	(死亡者) 寺松勝 本尾木 允キツムツハキ 禮エ子子ゲエ 浅国ツ一メギ重
(年齢) 39 83 76 65 89 76 77 72 75 79 52 67 81	(年齢) 39 83 76 65 89 76 77 72 75 79 52 67 81
(続柄) 父子 母子 兄弟 姉妹 夫婦 父母 兄弟 姉妹 夫婦 父母	(続柄) 父子 母子 兄弟 姉妹 夫婦 父母 兄弟 姉妹 夫婦 父母
(婚姻届年月日) 57. 3. 16	(婚姻届年月日) 57. 3. 16

野火遠く連なりて見ゆ阿蘇の夕
植木市値札比べて一樹買ふ
夜桜や月にふんわり浮きいでて
白鷺の止まり居るかに花香附子
れんげ咲く花にまじりて芹を摘み
雨に耐え白蓮かすかふるえ居り
古瓶に山ほど生けし桜かな
見る人も無く散り果つる山桜

後藤やよい
後藤 法龍
本田 訓子
阿部 タツエ
白石 政憲
後藤 春風
瀬井 ミサ子
瀬井 幸一

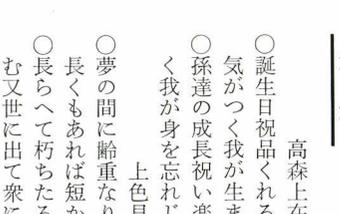
(こ) (寄) (付)

ありがとうございます
◎社会福祉協議会
△香典返しにかえて▽
△佐賀県鳥栖市の松尾開さんから
(母、ツキエさん・83歳死去)
△上色見の池田富平さんから
(養母、シゲさん・89歳死去)
▽高森上町の橋本野末次郎さんか
ら(妻、ハツ子さん・71歳死去)
△一般寄付▽
▽永野原の西田忠さんから病氣見
舞の返礼にかえて
▽下切の工藤貞光さんから病氣見
舞の返礼にかえて
▽色見山鳥の岩下タケカさんから
慰霊祭の謝礼として

◎老人クラブ関係
▽矢津田高尾野の本田イッ子さん
から「明治会」へ金一封
▽高森上在の松尾開さんから「城
山会」へ金一封
▽菅山の内倉ハツコさんから菅山
老人クラブへ金一封
▽菅山の橋本久男さんから菅山老
人クラブへ金一封
▽上色見の池田富平さんから青少
年育成会議色見支部へ金一封
▽高森南在の甲斐ハルエさんから
老人クラブ連合会詩吟部ほか、
草部、南在、横町の各老人クラ
ブへ金一封
▽訂正おわび▽前号五頁の駐在員
さん紹介で、菅山地区は富永二行
さんとなっていました。工藤二
行さんの誤りでした。

さわやか君

西村 宗



会社の屋上から遠く静かな瀬戸の海をながめていると、何事も忘れたように放心状態がしばらく続く。まるでこの倉敷で生まれ育ったかのように、いま見ている海を

誇りに思う。ふと我に戻った瞬間郷里「高森」の山々が脳裏をかすめる。高岳頂上の積雪や中岳の噴火等々――。郷里を離れて二十六年、子供た

ち(長女二十歳、二女十七歳)も九州生まれだが倉敷育ち。こちらの人間になりきっている。どの家庭でもいえることだが、子供中心の生活が始まったときから、いままでの生活環境も変わる。女房も鹿児島生まれのため、二人だけのときは九州弁丸出して過すことが多かったが、今ではその方言も自然と出なくなっている。

「はってくって、風が地面をはいはいしていくことよ」と説明した。そのときばかりは苦笑してしまいい理解させるのに手間どった。こうして方言も薄らいでいるころ、思いがけなく届いたのが同級会の知らせだった。案内状を読みながら思い浮かぶ同級生の顔、顔。早くも気持ちには中学時代に一人ふけり、修学旅行にでも行くかのように、指折り数えて待った。さて、二十数年ぶりの対面の日が来た。最初は遠慮し勝ちに話もあいさつ程度で、なかなか前に進もうとしない。しかし、時間がたつにつれ話もはずみ、幼いころの思い出、家庭のこと、職場のことなど、これといって順序立てた話はない。思いつきの多い話の中にも中学時代の話が一番はずむ。このときばかりは社長も平社員もない。「オイ」「お前」で遠慮はない。夜が更けるのも忘れさせてく

和歌

高森上在 桐原 久子

○誕生日祝品くれる外孫のはつと気がつく我が生まれ日を

○孫達の成長祝い楽しめつ老いゆく我が身を忘れて

上色見 後藤 嘉平

○夢の間に齢重なり九十四

長くもあれば短かくもあり

○長らへて朽ちたる身をば如何せむ又世に出て衆に報いん

○番サビスの電話番号が五月一日から二局の三〇〇〇番に変わりました。

電話「ロメロ」

二一三〇〇番は、○番サビスと同様に無料で電話局ニュースをはじめ、電話の経済的な利用法や新しい電話サービス、町村の行事日程などがお聞きになれます。お気軽にご利用下さい。

なお、二一三〇〇番についてお気付きの点、ご要望などありましたら二一〇四二四番へお電話ください。

同級会

倉敷市 岡 伴 三 (高森下町出身)

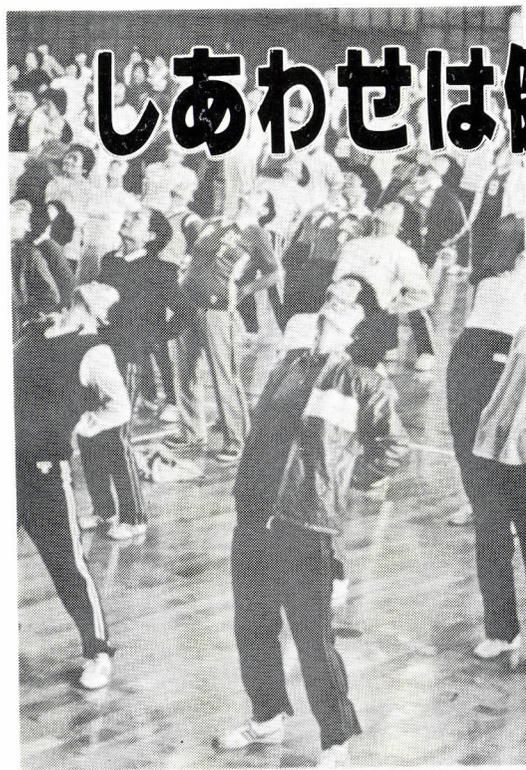


このページは、みなさんから寄せられた原稿で編集するページです。身近かな話題や、できごと、提言などをお待ちします。原稿のあて先は役場総務課広報係。住所氏名、年齢、職業をお書きください。紙上だけ匿名扱いできます。また「わが家の王様」に登場させたい方などご紹介ください。

「はってくって、風が地面をはいはいしていくことよ」と説明した。そのときばかりは苦笑してしまいい理解させるのに手間どった。こうして方言も薄らいでいるころ、思いがけなく届いたのが同級会の知らせだった。案内状を読みながら思い浮かぶ同級生の顔、顔。早くも気持ちには中学時代に一人ふけり、修学旅行にでも行くかのように、指折り数えて待った。さて、二十数年ぶりの対面の日が来た。最初は遠慮し勝ちに話もあいさつ程度で、なかなか前に進もうとしない。しかし、時間がたつにつれ話もはずみ、幼いころの思い出、家庭のこと、職場のことなど、これといって順序立てた話はない。思いつきの多い話の中にも中学時代の話が一番はずむ。このときばかりは社長も平社員もない。「オイ」「お前」で遠慮はない。夜が更けるのも忘れさせてく

れるのも同級会ならではのものです。こうして余宴を惜みつつ再会を誓い別れたが、一番心に強く感じたことは、やはり「みんな仲の良い友だち」ということだった。だが、同級会に出て寂しい話もあつた。誰々の他界です。なぜ、神様は同じ生命力を与えてくれないのか。せめて残った我々は、いつまでも手を取り合っていたいと考えている。

同級生っていいもんだなあ。ことし長女も成人式を迎え、久しぶりにみんなと会い、時を忘れはしゃいだらうで、父親の同級会を理解してくれた。



しあわせは健康づくりから

負けないぞ成人病

健康を考えると、まず病氣、それも成人病を思い浮かべる人も多いかと思えます。脳卒中、がん、心臓病、高血圧、糖尿病、肝臓病など、いわゆる働きざかりの人を襲う病氣を「成人病」とよんでいます。成人病は、ここ三十年近く死亡原因の上位にあって、全死亡のほぼ七割を占めています。これらの

成人病 若いうちに予防

元氣な人であれば、健康づくりといわれてもピンと来ないかも知れません。しかし、私たちが意識しなくても、健康は私たちの生活をしっかりと支えているのです。病氣を未然に防ぎ、幸せな生活を続けるために、明日からといわず今日から、健康づくりを始めましょう。

病氣は、私たちがまだ若いうちから、気がつかない間に巣をつくり、四十代、五十代になってその本性を現わします。発病してからは治療が困難であることも特徴です。いま、私たちにできることは、予防に努めることで、これから健康づくりが始まるといっても過言ではありません。健康づくりには、**三つの基本条件**

三つの基本条件

自分に合った**適当な運動**を生活の一部に
自分で守る「**健康**」とは、どういうことでしょうか。ごく普通に考えれば「病氣でない状態」ですが、正確には「身体的にも精神的にも、さらに社会的にもよく調和がとれている状態」をいいます。健康とは毎日の努力と注意があってこそ獲得できるものなのです。私たちの体は、人それぞれに異なり、環境もまた異りますから、まず「自分の健康は自分で守る」覚悟が必

栄養は量より質

要です。そして健康づくりに必要な三つの基本条件「**栄養**のバランスのとれた食事・**適当な運動**・**十分な休養**」を自分なりにつかんでください。

食生活は成人病との関連が大きいといわれます。塩分をとり過ぎると高血圧になり、食べ過ぎると肥満になるばかりか、成人病にかかりやすくなります。

栄養のかたまりをなくすために、たんぱく質のおかずを主体にし、野菜や果物を上手に組み合わせてください。手軽なインスタント食品に頼ったり、好きなものだけ食べていると、栄養のバランスがこわれます。要は量より質です。三食をバランスよく、腹八分目に食べ、お菓子などの甘いものは、できるだけ控えましょう。

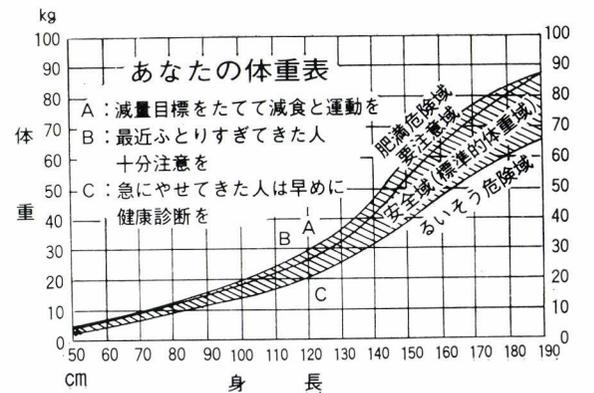
運動—三カ坊主はため

無理のない運動は体の機能を高め、心臓や肺の動きを活発にします。それとともに老化を防ぎ、豊かな心をはぐくんできます。ジョギングや朝のラジオ体操、スポーツで汗を流すなど、何でもよい

のです。自分に合った**適当な運動**を選び、しかも続けることが大切です。毎日食事をするように、運動を生活の一部にする……三カ坊主では効果がありません。

休養も忘れずに

いくら休養をとっても、働き過ぎたり夜ふかしをしたのでは何にもなりません。無理をすると健康を害してしまいます。今日の疲れを明日に持ち込まない心がけが必要です。疲れをとるのに最も効果のあるのは睡眠です。床につき時間を決めて十分な睡眠時間をとり、翌日



お知らせのページ

無料法律相談日 が変わりました

5月29日に

本町出身の弁護士、津留清さんが昨年八月から町民センターで無料法律相談を開いていますが、六月から実施期日が第四土曜日（従前は第三土曜日）に変わります。

金銭、土地、夫婦関係ほか、相続、損害賠償、交通事故など法律に関することならなんでも結構です。お気軽にご相談ください。

なお、五月の相談日のみ第五土曜日の二十九日（午後一時から四時）です。

外国人の方も国民年金に加入を

本年一月一日から在外国人の方も国民年金に加入できるようになり、現在、加入届の受付中です。加入の方はもちろん加入しませんが、加入対象は、日本国内に住所を有する二十歳以上、六十歳未満の外国人で、厚生年金保険などの公的年金制度に加入していない方です。

なお、他の公的年金制度に加入

している人の配偶者は任意加入となります。

国民年金に加入しても老齢、通算老齢年金を受ける期間を満たすことができない方は任意脱退することができず。

くわしくは町民課年金係、または社会保険事務所におたずねください。

6月1日現在で 商業調査を実施

通商産業省では六月一日現在で商業統計調査を実施します。この調査は「商業の国勢調査」ともいわれるもので、わが国の商店の分布状況や販売活動の実態および商品の全国的な流通状況などを明らかにするため、全国の卸売業・小売業および飲食店を営んでいるすべての商店を対象に行われます。

この調査の結果は、国や都道府県、市町村における商業の育成、流通機構の近代化などの施策を進めるうえで重要な基礎資料として多くの分野で利用されます。また各商店が経営指針を作る際にも広く役立っています。

調査は県知事から任命された商業統計調査員が商店を直接訪問し

調査票に記入していただいで回収するという方法で行います。ただし、飲食店のうち、バー・酒場などについては、調査員が調査事項を聞きとり、調査票に記入する方法等で行います。

提出される調査票は、統計法により厳重に秘密が守られますので正確な申告にご協力ください。

母子家庭と寡婦 のために講習会

県では、母子家庭と寡婦の自立促進を図るため、五十七年度も次のとおり各種講習会を計画しています。受講ご希望の方は早目に町民課福祉第二係へ申し出てください。

- 給食調理員養成講習会 五月二十六日から六月七日まで
- 肥後てまり講習会 十月十九日から十月二十九日

○家庭奉仕員養成講習会 十一月十五日から十一月二十六日
(会場はいずれも熊本市)

町花・町木を推薦してください

豊かさの中にひびきみが拡大されつつある現代社会では、自然に囲まれた生活こそ人々が望んでいるところだと思います。そこで、町では新庁舎建設にあわせて、町の象徴となる町花・町木を選定することとし、町内のみなさんから公募することになりました。山林原野で見かける野の花や根子岳、高森峠、祖母山麓など景勝地に見られる樹木など、みなさんが日ごろ親しんでいる花木を推薦してください。

- 応募資格 町内に居住する人に限ります。
- 募集期間 五月一日から八月十日まで(必着)
- 応募方法 官製ハガキの裏面に花木の名称を書き、その推薦理由と応募者の氏名、年齢、職業を付記すること。
- 送り先 高森町役場総務課

九州青年の船 団員を募集

今年も「九州青年の船」が中国に向け出航します。募集要領は次のとおりです。多数のご応募をお待ちしています。

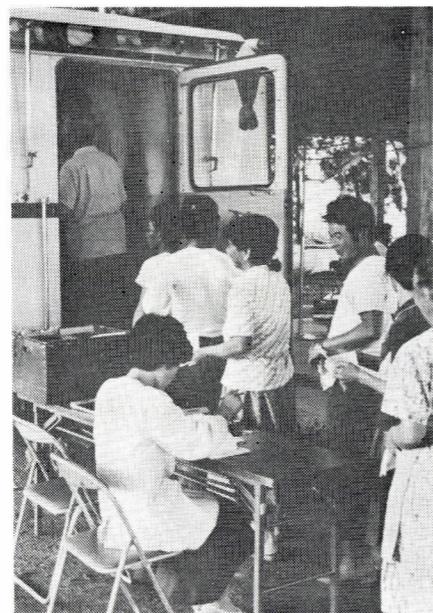
- 【期日】八月二十六日(木)～九月八日(水)までの十四日間
- 【訪問先】大連・瀋陽・北京・天津
- 【募集期間】五月一日～二十五日
- 【募集人員】四十三人(男二十二・女二十一)
- 【応募資格】▽四月一日現在、満二十歳以上、二十八歳未満の男女▽県内に一年以上居住し、引き続き居住しようとする人▽将来、職場・青少年団体・地域において活発な行動が期待できる人▽心身とも健康な人

Smokin Clean

守ってまわすかたの煙マナー

ちょっとした心づかい
いも味のうち

日本専売公社



町内各地で実施する住民健診

快く目覚められるようにしたいものです。睡眠が一番といっても、休日には一日中家でゴロゴロしているのではいただけません。野や山に出て自然に親しむ、趣味を生かすというのも休養の方法といえるでしょう。

年に一度は健康診断

自分が健康だと思っても、気がつかないうちに病気にかかっていることがあります。そこで、さらに定期健康診断の受診をおす

すめします。病気が軽いうちに治療すればなおしやすいものです。このため町では各種の健康診断事業、がん集団検診、循環器検診、老人健康診断などを行って、早期発見に努めています。

- ◇◇◇ 今年度では、健康づくりのため次のような事業を実施します。
- ◆婦人(子宮がん)検診 五月四日(農協河原支所)▽五月六日(林業センター)▽五月七日(農協上色見支所・同色見支所)▽五

こんなときは申請手続きを

国民年金は厚生年金や共済年金に比べて歴史が浅く、加入も個人単位のため、給付を受けることができるのに、知らないで損をする恐れがあります。そこで、具体的に年金給付を受けられるケースをあげてみました。こんなときには請求手続きを早めに。

と老齢年金の場合が強調されているためか、他の受給できるケースを知らない加入者が意外と多いといわれます。

身障者や母子 になった場合

しかし、△表▽をみればわかると思いますが、本人が保険料を一年以上継続して納めていれば①病

気やケガをして身体障害者になったとき ②妻が夫を亡くし十八歳未満の子と一緒にいる場合 ③同じく女性で扶養者である夫や父、息子を亡くし、十八歳未満の孫や弟、姉と生活しているとき—には、その種類に応じて年金を給付されます。

ただし、身体障害者になった場合でも三級のときは受けられません。母子・準母子年金

国民年金の申請手続き要件

年金の種類	要件	金額(月額)
老齢年金	六十五歳になったとき	四五、二七五円(通算老齢年金を納めた場合)
障害年金	最近一年以上保険料を納めている人が病気やケガをして身体障害者となったとき	二級 四五、〇三二五円 一級 四五、〇三二五円
母子年金	最近一年以上保険料を納めている妻が夫を亡くし、十八歳未満の子といっしょに生活しているとき	四五、〇三二五円
準母子年金	最近一年以上保険料を納めている女性が、最近一年以上保険料を納めていた父や母が亡くなり、十八歳未満の子だけ残されたとき	〇円
遺児年金	最近一年以上保険料を納めていた父や母が亡くなり、十八歳未満の子だけ残されたとき	〇円
寡婦年金	夫が受ける老齢年金の半額	〇円

の場合、亡くなった夫などが他の厚生年金などに加入していてもいっさい構いません。ただし再婚すれば受けられません。子供はどちらの連れ子でも養子でも構いません。また、父や母が亡くなり十八歳未満の子だけが残されたときも、父か母のどちらかが、それまでに保険料を一年以上払い込んでいれば受給できます。

国民年金

ふだんの生活で、何か不便を感じていることはありませんか。役所などの窓口で、不親切な扱いを受けたことはありませんか。

このような行政上の苦情、要望、問い合わせを聞いて問題の解決に努力し、国民のためのよりよい行政を目指す—これが「行政相談制度のねらいです。」

役所や公社・公団などが行っている仕事について、苦情や意見、要望をお持ちの方は、お気軽に行政相談委員にご相談ください。

苦情や意見の気路

5月16日から春の行政相談週間

行政相談委員が受け付けた皆さんの苦情や要望は、全国で年間十九万件余り。中でも多いのが道路、交通安全についての問題で、その他、年金、国税、登記など、個人の権利や利益に関係した相談内容が目立っています。

このような日常生活に密着した「行政相談」を、さらに多くの方に知り役立ててもらおうと、

春と秋の年二回行われているのが「行政相談週間」です。今年も五月十六日から二十二日まで「春の行政相談」が行われます。相談の申し出は、直接口頭でなされることをお勧めしますが、手紙や電話でも結構です。また、申し出は団体でも個人でもよく、申し出人の名前や相談内容については秘密にしています。本町の行政相談委員は高森上町の桐原史吉さん（☎②0273）です。

団長に白石さん 青年団の新役員



白石さん

町青年団では三月二十一日に総会を開き、次の新役員を選出しました。新しい団長は白石博昭さん（市野尾）、副団長は渡辺博美さん（上在）、榎木野しほさん（大村）の二人。事務局長には佐藤文武さん（大字津留）、安藤幸代さん（河原）がそれぞれ決まり、各部長は次のとおりです。

- ▽総務部長 藤原誠一（津留）
- ▽産業部長 後藤昭博（前原）
- ▽社会部長 岡本欽也（草部）
- ▽体育部長 林淳一（冬野）
- ▽文化部長 野尻範仁（野尻）
- ▽生活部長 甲斐千穂（草部）
- ▽レク部長 平田清（横町）

ハイキングにどうぞ

別所堤・羅漢山遊歩道が完成



待ちに待った春の訪れ。町では羅漢山に登る人たちの便宜を図るため、このほど別所の堤から山頂に通じる遊歩道を整備しました。

羅漢山は阿蘇神話の鬼八法師の伝説で知られており、山頂付近の岩壁に大きな空洞があり、この中に武田吉右衛門尉永勝が建立した十六

少年補導員を委嘱

高森警察署

高森警察署は四月一日付で管内十八人の方々に少年補導員を委嘱しました。少年補導員の主な任務は、①少年非行の早期発見と適切な補導 ②少年をとりまく有害環境の浄化 ③地域における少年の

健全育成に関する啓蒙などです。高森署管内の少年非行は従来の万引き、窃盗に加え、シンナーなどの薬物乱用や女子の性の逸脱行為も目立って多くなりました。そこで、私たちが家庭でのしつ

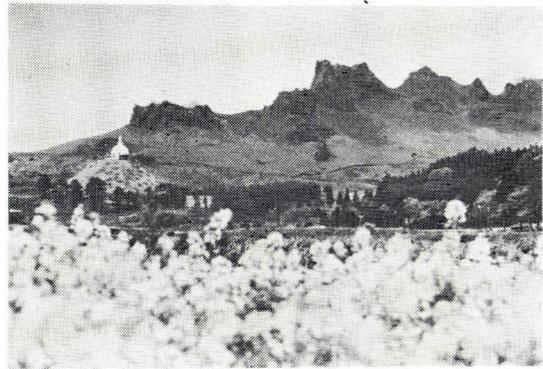
けや、少年をとりまく社会環境を見直し、子供の輪郭をしっかりとっておくよう心がけましょう。本町の少年補導員は次の方々です

- ▽後藤幸充（横町・農業）
- ▽本田国男（上在・国鉄職員）
- ▽山村法雄（下町・僧侶）
- ▽福永忠喜（下町・写真業）
- ▽本田研一（大村・商業）
- ▽本田登（永野原・農業）
- ▽野尻誓道（野尻・僧侶）

高森百景

らくだ山公園

高森市街から国道二六五号線を北に向って約二キロ、村山祖母神社を右に拝みながら文次郎坂を越せば、目前に真白いパコダが見えます。このパコダの背景となっている山が通称「らくだ山」で、以前は「障子岩」「屏風岩」とも呼ばれていました。



目前に真白いパコダ

根に凸凹の岩山があつて、ちょうどドラクダのこぶに似ているところから誰れいとうなく「らくだ山」と呼ばれるようになりまして。

本町にも「と町長の強い希望が認められた結果です。この仏舎利塔建設にあたっては、一の宮町出身の日本山妙法寺藤井日達げい下（高僧）の高

<5>

高森町がこの所を公園として開発を始めたのは昭和四十八年ころからで、当時、全国各地に世界平和人類共存の願いを込めて建立されたつづつあった仏舎利塔を「ぜひ

弟、石山善邦師（本町出身）が、あらかじめ土地選定を行い、その勝れた景色を賞で、阿蘇の北側仙酔峽に建立された仏舎利塔と表裏一体をなすものとして一念発起、一家を挙げ、多大の犠牲を払い、また全町民奉讃の下に五十二年八月に落慶したものです。

この仏舎利塔は、全国数多くのそれと多少形を異にしていますが、パコダの周囲にはめ込まれている彫刻は、わざわざ印度から招かれた仏師の手になるもので、釈迦の生誕から入滅までの生涯がみごとに表現されています。正面本尊は地元石工の作。歩道を西から北に回れば高岳、根子岳が指呼の間に望まれます。付近一帯は春のわらび狩り、秋の紅葉、かきなど行楽シーズンには、かなりの人出でにぎわいをみせます。阿蘇国立公園の中の自然公園ですから、みんなの力で大切に大きく育ててゆきたいものです。

ところで、文次郎坂のいわれは、県道開通にあたり、村山部落の素封家、故村嶋文次郎氏の多大の協力援助を称えて名付けられたと聞いています。

内田秀憲

宿泊、はや20万人に

南阿蘇国民休暇村

全国で二番目の宿泊率



南阿蘇国民休暇村（村井直衛支配人）は開設以来、四月十六日で宿泊者数が二十万人を突破しました。

同休暇村は、町長の強い要望で五十一年十月一日に草河原近くの国道筋にオープン。その後、県内外から家族連れや中・高校の修学旅行生が訪れています。宿泊者は五十一年度一万四千三十九人、五十二年度三万二千九十九人、五十三年度から三万五千人から四万人弱、そして五十六年度には四万二千六百九十二人と合わせて順調。これは全国三十二の施設の中でも宿泊率が五三％と、福岡県の志賀島に次いで全国第二の実績だといわれます。

二十万人を超える利用者となったのは、この日午前十一時過ぎバス二台で訪れた熊本YMCA学院（熊本市帯山二丁目）の研修生一行一人。二十万人突破を記念して同休暇村から広石同学院長に有田焼の花瓶が贈られました。またちょうど二十万人目となった同学院秘書実務科の柴田美幸さん（八）にも花束とベアの泊無料招待券が贈られました。写真

同休暇村内には、今回新たにファミリーオートキャンプ場、セントラルロッジが整備されましたが、今年度ではさらに野草園の造成、ビジターセンター、宿泊能力百人増を図る宿舎・食堂の増設などが行われることになっています。

「100歳おめでとう」

河原の後藤トエさん

町長らが長寿を祝う



町から寿詞と記念品が贈られた後藤トエさん

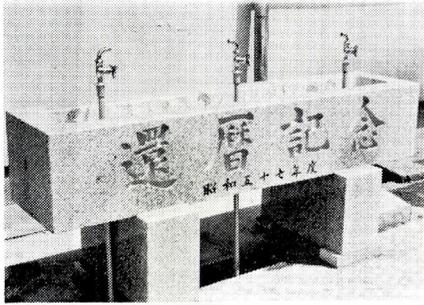
組をプレゼントし、長寿を祝いました。

トエさんは明治十五年四月二日野尻の河地に生まれ、二十一年のとき後藤家に嫁ぎ、農家の嫁として一男一女をもうけましたが、大正五年には夫の正一さんが病死。いまは長男一二さん(八〇)と孫の昭敏さん(四五)夫婦と四人で暮らしています。トエさんは六

「おばあちゃん、おめでとう」
—本町河原の後藤トエさんが四月

二日で満百歳を迎え、岩下町長らがトエさん宅を訪れて、ふとん一

人姉弟の最年長で、存命している二人の妹も九十四歳(上在の栗屋



高森中に寄贈された水飲場

高森中に水飲み場完成

大正廿二 年生まれ 還暦記念として贈る

ついでと
いうことで
話がまとま
ったもので
す。

ことし還暦を迎えられた高森上町の中川清澄さん(六〇)ら大正十一・十二年生まれのグループ三十八人は、このほど還暦記念事業として、高森中学校に水飲み場を建設して寄贈されました。

同グループの大半は高森中学校(以前の高専科)を昭和十二年に卒業した同窓生。息子や孫たちも同校に通うなど日ごろお世話にな

完成した水飲み場は前庭にあ

り、高さ〇・六呎、幅一・六呎、奥行き〇・四呎のみかげ石の化粧仕上げ、三本のパイプにそれぞれ蛇口がつけられています。これま

で、グラウンド近くに水飲み場がなかっただけに、生徒たちは大喜び。学校側も心のこもった先輩のプレゼントに「助かります」と感謝していました。

セツさん)と八十九歳(萩町の後藤チリエさん)と長寿。

若いころから病氣らしい病氣はしていないという元気のよさで、耳や目がやや弱ったものの食事も家族と同じものを三度三度食べるほどの健康状態。足腰もしっかりしており、つえは使わず歩き回ります。孫嫁の佐保子さん(四五)の話だと天気がいい日はひなたぼっこ、雨の日はゴロ寝と、ごく自然

高森警察署長に
なられた

村上敏朗氏

九州管区警察局長の交通調査官から再び第一線現場へ。「初任



地が小国署
ということ
もあって、
阿蘇には親
しみを感じ
ています。
高森は初め
てですが、



補佐を歴
任、五十五
年三月警視
となり、九
州管区警察
局へ出向さ
れていまし
た。

こじんまりしたい町だと思えます。春の交通安全運動で管内五カ町村全部を回りましたが、どこの地域も取り組みが積極的。これからは安全意識を高めるため現場で努力したい」
気分つたところがなく、人な

着任の訓示は「署の和づく」を強調したといわれます。趣味は盆栽と投げ網。自宅は鹿本郡植木町大字古閑。赴任されてからは下町の官舎で妻十三子さん(四八)と二人暮らしです。

つっこい人柄がうかがえます。
昭和六年、鹿本郡植木町(旧山東村)生まれ。二十七年巡査

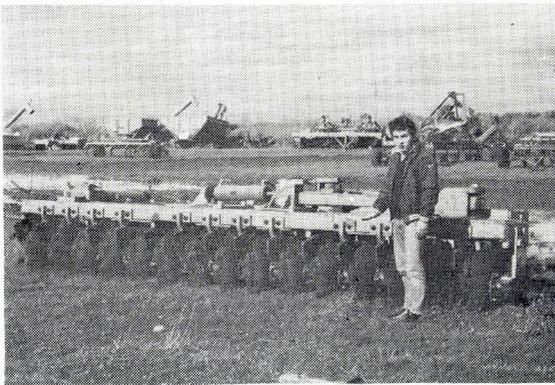
拵命。小国署を振り出しに熊本南、松橋、県本部交通課、交通巡ら隊(白バイ隊)など交通畑中心へ。四十七年警部で八代署交通課長、県本部交通指導課長

な生活をしており、テレビの時代劇を見るのが楽しみだといいますが、
岩下町長が「本当にお達者ですね。いつまでも長生きしてください」と話しかけると、「百歳まで生きることができ、ごきげんありがたいことはありません」と、ニコニコしながら答えていました。

農業に誇りを

高森上在 渡辺博実

私は学生時代、神奈川県のある自動車工場を見学に行きました。その工場では、ベルトコンベヤーにそった流れ作業の中で、単調な仕事を繰り返している作業員の活気のなさが、やけに目に つきました。指導者の人に労働者の指導はどのようにしていますかと尋ねたら、「考えずに働け」と言っている



アメリカ農業を視察する渡辺さん

ますということでした。「考えずに働け」つまり、考えて作業をやると作業の能率が落ちてしまうからです。なんと非人間的であることでしょう。それに比べ農業は考えながら働く、つまり一人一人の創造性を生かすことができますし、自分の労働の結果を自分の目で確かめることも出来ます。

ときには、芸術的な喜びまで感じることも出来るのです。子供にとっても、親の仕事ぶりを見ながら、たくましく育つ環境が農業なり農村にはあるわけですから。老人にしてもそう。趣味の面とか、健康の面でも自分たちの幸せにつながる基盤があり、人間らしさを求めるのにも恵まれた環境にあるといえます。最近ではコーラやチョコレートの味しか判からない人たちが増えて

全国たばこ耕作者青年の声発表文

全国たばこ耕作者の声発表会で見事優秀賞に選ばれた本町上在の渡辺博実さんの発表文(後編)を掲載します。渡辺さんは農業に対する物の見方、考え方など、農業に生きる誇りを率直に訴え、これが高く評価されました。

いるようですが、本当の食べ物の味を味わえるのも農村ではないでしょうか。そして、人間が生きて行くためには、なくてはならない食料を生産しているのです。あってもなくてもよい職業とは違います。

このように、農業には所得だけではなく、都会の秒刻みのあわただしさや暗いコンクリートの壁や濁った空気の生活とは違い、豊かな自然の緑、体いっぱい注ぐ太陽、うまい水、暖かみのある人のつながりなどお金では計算できないプラスアルファがあります。この

のプラスアルファで農業なり農村を評価する人生観を持たなくてはいけないのではないのでしょうか。金、物オンリーから人が人として生きるための金であり、物であると考えを変えたときに、農業コンプレックスなんておかしくなるのではないのでしょうか。

農業をそういう角度から見ても「農業はまだまだそんなに見捨てたものじゃないですよ」と言いたくなります。社会も時代も単なる物や物量、金だけを追い求めた時代から生活の質、本当の中味、心の豊かさを求めるように

変わって来ています。このような状況下において、私はこの阿蘇の大自然をバックにたばこ耕作中心に米、野菜、繁殖牛を取り入れた経営で、たばこ耕作の技術の向上、あるいは土作り、あるいは仲間づくりと友を大切にして一生懸命がんばっていきつもりです。

私はこれまでわずかな期間ではありますが、農業をやってきたことに決して後悔はしていません。また、もう一度生まれきてても農業を選ぶと思います。確かに苦しいことではありますが、世の中楽しいことばかりの連続などありうるはずがありません。

皆さん、お互いに勉強し合い、我々若い農業者が、農業にそしてたばこ耕作にもっと自信と誇りを持って取り組もうではありませんか。

空き缶の「ポイ捨て」は

貴重な資源のムダ遣い

お金を捨てる人はまずいないでしょうが、空き缶となると、どうもポイと簡単に捨てる人がまだまだ多いようです。

しかし、空き缶もいまやお金と同じように貴重な物です。特にア

ルミ缶は省資源・省エネルギーにつながる 価値ある 資源といえます。アルミ缶は再生が簡単にできるので、再生の場合は新たに地金を製造するときに比べて、二十七

このような「価値ある資源」空き缶を無造作にポイと捨てるのは、文字どおり資源のムダです。五十六年に環境庁が行った調査では、アルミ缶だけでなく空き缶は全体の五二・六％と半数を超えています。貴重な「空き缶資源」のポイ捨てをやめて回収ルートに乗せるとともに、環境の美化に努めたいものです。